

平成22年5月18日



韓国海洋大学校練習船寄港に伴う洋上教育研究交流会及び 企業交流会実施

徳島大学〔学長：香川 征（かがわ すずむ）〕では、小松島港に寄港する韓国海洋大学校の練習船を会場として、洋上教育研究交流会・企業交流会を開催します。

[送付枚数6枚（本紙を含む）]

（報道概要）

この度、徳島大学の学術交流協定校である韓国海洋大学校の練習船が、海洋実習航海の最初の寄港地として小松島港に寄港することとなりました。同練習船の徳島寄港は10年ぶり、5月19日14時に小松島港に入港し、5月22日16時に次の寄港地である上海に向けて出港する予定です。

そこで、両大学ではこの練習船を会場として、以下のとおり学生及び教員による洋上教育研究交流会・企業交流会を開催することとしました。

記

1. テーマ：「人の健康と地球の健康を考える洋上教育研究交流会・企業交流会」
2. 日 程：5月20日（木）・21日（金）
3. 目 的： 現在、太陽光発電、風力発電及び波力発電など自然エネルギーの有効利用が強く求められている。また、最近ではCO₂の排出が気候変動をもたらし、人の健康と同様に地球の健康が強く認識されるようになってきた。この方面の徳島大学及び韓国海洋大学校の研究者及び学生が一堂に集い、最近の研究成果を基にした研究討論会を開催する。また、FD活動の一環として、人の健康と地球の健康をどのように教育していくかを討論する。併せて、県内企業との企業交流会を開催する。

については、ご多用中恐れ入りますが、現地での状況等詳細について国際課にご取材頂けますようご案内します。

お問い合わせ先

部局名 研究国際部

責任者 国際課長 岡崎房述（おかざき ふさのぶ）

担当者 国際課長 岡崎房述

電話番号 088-656-7634

メールアドレス kokusaikachou@jim.tokushima-u.ac.jp

韓国海洋大学校練習船寄港に伴う大学間国際交流計画

1 交流計画の概要

◆ 5月19日(水)

- 韓国海洋大学校練習船小松島港入港（入港時間：14:00）
- 韓国海洋大学校 総長、国際学院院長が乗船
- 徳島大学担当者が練習船訪問し歓迎挨拶と日程打合せ

※韓国海洋大学校総長日程：5/19-5/20 泊2日(練習船にて来日)

5月19日(水)14時来徳、呉総長の船上歓迎夕食会

5月20日(木)総長：10時30分からのシンポジウムに出席

11時30分～12時30分 香川学長主催昼食会(パシフィックハーバー)

13時15分 リムジンにて徳島駅から関空へ

◆ 5月20日(木)

- 学生及び教員による洋上教育研究交流会・企業交流会の開催（第1日目）
- 18：00 第1回洋上情報交換会（主催、韓国海洋大学校、会場：練習船上）

◆ 5月21日(金)

- 学生及び教員による洋上教育研究交流会・企業交流会の開催（第2日目）
- 両大学の学生によるスポーツ交流会→常三島キャンパスの体育館使用
- 18：00 第2回情報交換会（主催、徳島大学、会場：パシフィックハーバー）

◆ 5月22日(土)

- 小松島港出港（16時）
（その後の航海経路：上海～バンコク、マニラ経由、釜山帰港）

※小松島港にて関係者が見送る

- ✚ 徳島大学全体の国際交流事業という位置づけで実施する。

2 洋上教育研究交流会について

◆ テーマ

- 「人の健康と地球の健康を考える洋上教育研究交流会・企業交流会」

◆ 日程

- 5月20日（木）学生及び教員による洋上教育研究交流会・企業交流会（1日目）
- 5月21日（金）学生及び教員による洋上教育研究交流会・企業交流会（2日目）

◆ 目的

太陽光発電、風力発電及び波力発電など自然エネルギーの有効利用が強く求められている。また、最近ではCO₂の排出が気候変動をもたらし、人の健康と同様に地球の健康が強く認識されるようになってきた。この方面の徳島大学及び韓国海洋大学校の研究者及び学生が一堂に集い、最近の研究成果を基にした研究討論会を開催する。また、FD活動の一環として、人の健康と地球の健康をどのように教育していくかを討論する。併せて、県内企業による企業交流会を開催する。

◆ 学術的意義

太陽、風、波など自然の持つエネルギーを有効利用することは地球環境にやさしいグリーン技術であり、低炭素社会の実現により地球規模の環境保全是エネルギー問題と同時に緊急に確立しなければならない。さらに人の健康は人が幸せに生活する基本であり、地球の問題以上に深い課題である。この方面で活発に研究している両大学の関係者が集まって情報交換することは、時期を得たものである。このようなテーマについて学生をどのように教育していくかを討論することは、FD活動として両大学の交流をより深めることにも役立つ。

◆ 洋上教育研究交流会等参加者

(1) 韓国海洋大学校

ア) 学生：84人～104人

- ✓ 海事实習生 84人：海事学部、海洋技術学部の学生(このうち、洋上教育研究交流会へ30人、スポーツ交流へ50人参加)
- ✓ 一般学生 20人：工学部、国際学部などから(洋上教育研究交流会へ20人参加)、※往復航空便利用

イ) 教職員：20人

- ✓ 乗船教職員 10人
- ✓ 教職員 10人 ※復路は航空便利用

(2) 徳島大学

- ✓ 学生A班 (洋上教育研究交流会参加者) 50人(1日目)
[常三島から40名：総合科学部10、工学部30 (DDから14、全8学科から②×8学科=16)、蔵本から10：医学部、歯学部、薬学部等から]
- ✓ 学生B班 (スポーツ交流会参加者) 50人(2日目)
[常三島から40、蔵本から10]
- ✓ 教職員 30人 (1日目、2日目延べ)
[常三島から20：総合科学部10、工学部10、蔵本から10：医学部、歯学部、薬学部等]
- ✓ 合計 1日目：80人 (50+30)
- ✓ 合計 2日目：130人 (50+50+30)

(3) 企業 (交流会)

- ✓ 王子製紙、大塚化学、大塚食品、大塚製薬、大塚製薬工場、大塚倉庫、四国化工機、四国電力、日亜化学、藤崎電機、松浦機械製作所、三浦工業等関係企業10社程度のパネル展示と資料展示(50音順)
- ✓ 併せて、共催費用の一部について寄附を依頼する
- ✓ 20日及び21日の情報交換会に招待する
- ✓ これら企業を訪問し、参加要請と寄附金及び寄附物品依頼

3 学生よるスポーツ交流について

◆ 日程概要

5月21日(金)

- ✓ 午前10時～13時：スポーツ交流会(学生および教員による洋上教育研究交流会・企業交流会(2日目)と同時に開催する)
- ✓ 参加者
 - 徳島大学：学生B班50人(常三島40、蔵本10)
 - 韓国海洋大学校 50人 ※教職員含む
 - 合計 100人
- ✓ 午後14時～16時：韓国海洋大学校50名は阿波踊り会館見学、阿波踊り体験、市内散策
- ✓ その後、バスでパシフィックハーバーへ移動し、洋上情報交換会へ参加
- ✓ 20:00解散 バスにより韓国海洋大学校関係者を小松島へ送る
※徳島大学生の取り扱いについて
 - 阿波踊り会館など参加が可能な学生は引き続き参加することとする